TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神様の知恵　幾らかでも手元に蓄えておきなさい

コリントの信徒への手紙一 16 章 1 節－4 節

2025 年 10 月 18 日 & 19 日
余沢　武　牧師

I. はじめに

こんにちは。このコリントの信徒への手紙一で私たちは次のことを学びました。

1　神の知恵である福音は、人間の知恵では成し得ない方法で私たちを変えることができる。
2　しかしコリントの教会はそのことを見落としたため、教会は分裂し、不道徳に陥り、偶像を崇拝し、神を冒涜し、他者に奉仕して愛することを怠り、さらには自らの復活さえ疑うようになりました。
3　しかしパウロはこう言います。死は無力にされたのだから、私たちは今こそ主の働きを行うことに専念できるのだと。
4　本日は、そうした働きの一つである「ささげる」ことにどのように私たちが専念できるのかをみてみましょう。まずお祈りしましょう。

II. 幾らかでも手元に蓄えておきなさい

(1) 聖なる者たちのための募金

コリント一 16 章 1 節を開きましょう。そこにはこうあります。「[1]:聖なる者たちのための募金については、私がガラテヤの諸教会に指示したように、あなたがたも行いなさい。」

パウロは教会に、聖なる者たち、つまりクリスチャンに、特に困窮している人たちのために献金を集めるよう命じています。クリスチャンとして私たちは知っています。自分が持っている全ての物は神から預けられているものであり、それは私たちの必要を満たすためだけでなく、神の教会、神の民、そして神の働きの必要を満たすためでもあることを。

ここでパウロは、エルサレムのクリスチャンの必要を満たすために献金を集めています。私たちの場合、「十分の一献金」やそのほかの献金を通して、神の教会、神の民、そして神の働きの必要を満たすために献金を集めます。

ところで、十分の一献金という概念を簡単に説明しましょう。十分の一献金という言葉は、何かの一割、つまり 10%を意味します。旧約時代、人々は家畜や作物の十分の一を神に献げることで十分の一献金をしました。今日では、あるクリスチャンは収入の 10%を神に献げることで、その収入が神からのものであることを認め、神への感謝を表し、自分が神に頼っていることの表明をします。

小学校か中学校の頃、初めて十分の一献金という言葉を聞きました。その時、クリスチャンの大人は、それはもう行われていない古い習慣だと教えてくれました。だから十分の一献金を無視していました。
しかし 20 年後、TBC で新たに生まれ変わったクリスチャンとして過ごしていたある日、日曜学校の先生が、聖書で教えているため、私たちは十分の一献金するべきと聞きました。私が最初に思ったのは「10%というのは結構な額だな」でした。

でも本当にお金を含め何においても神を敬いたかったので、自分にこう言いました。「もし毎週牧師を食事に招待するなら、快く全額を出すだろう。なら、それを神に返すのはどうだろう。やってみよう。」と思いました。

しかしその後、異なる見解を持つクリスチャンと出会うようになりました。彼らは十分の一献金は旧約の律法であり、イエスによって成就されたと主張します。私たちはもはや律法の下ではなく恵みの下にあるのだから、十分の一献金はもはや必要ない、という考えです。それもまた理にかなっているように思えました。

ただ、旧約の律法がイエスによって成就したからといって、神の備えを認めたり、頼ったりしなくなるわけではありません。それは単に、今や聖霊が私たちの内にいるので、より心を込めた、自発的な形でそれを表現するようになるという意味です。

だから TBC では献金することはクワイエット・タイムと同じく霊的訓練であることを学びます。守るべき律法としてではなく、神を敬うために実践する霊的訓練です。

創世記4章において、神にささげられた最初の供え物はカインとアベルが感謝の表現としてささげたものであったと学びました。しかし神はアベルの供え物を喜ばれ、カインの供え物は喜ばれませんでした。こうして私たちは、神を喜ばせる供え物と喜ばせない供え物があることを学びます。

次に神に捧げ物をささげた人たちはノア、そしてアブラハムでした。そしてアブラハムは神に初めて十分の一を捧げた人物です。

アブラハムの甥ロトがソドムの王と共に、他の王達に捕らえられた時、アブラハムは彼らを救い出しました。アブラハムは、大祭司メルキゼデクを通して、所有するすべてのものの十分の一を神にささげました。しかしソドムの王がアブラハムに戦利品すべてを受け取るよう求めた時、アブラハムは何も受け取らないと言い、ソドムの王が「わたしがアブラムを富ませた」と言わせないために拒みました。

それが聖書における初めての十分の一献金です。律法が与えられる前の出来事です。アブラハムの心が正しかったので神はそれを受け入れ、アブラハムにこう言われました。「私はあなたの盾である。あなたの受ける報いは非常に大きい。」

2度目に十分の一献金が出てくるのはヤコブが兄エサウから逃げた時でした。ベテルでヤコブは、神が彼の必要を満たし、安全に守ってくださるなら、持っている全ての十分の一を献げると神に約束しました。このことも神を喜ばせたようでした。

そして 3 度目です。神がイスラエルの人々に律法を与えられた時、神はアブラハムとヤコブがしたように十分の一献金をして、神を敬うよう命じられました。これらによって、感謝と信仰の心で行う献金は神を敬うものであるとわかります。

今日、私たちが献金するのは、それが律法だからではなく、アブラハムやヤコブ、イスラエルの民がしたように、神の備えを認め、感謝を表し、神に頼っていることを表明する方法だからです。
コリントのクリスチャンが他のクリスチャンの必要を支えるために献金したように、私たちも定期的な献金をささげたり、宣教や IBP(インパクト・ビルディング・プロジェクト)に献金したりするのは、神の教会、神の民、そして神の働きの必要を支えるのです。

しかし、クリスチャンがささげることについて理解すべきことがあります。私たちの神は与える神なので、ささげることは私たち自身が神の似姿へと成長していくために学ぶべきことの一つです。だから

聖書はコリント二 9:7b でこうあります。「喜んで与える人を神は愛してくださるからです。」神殿で献金した人々の中で、イエスが称賛した唯一の人は、二枚の小さな硬貨をささげた貧しい未亡人だけでした。イエスは言われました。「この貧しいやもめは、献金箱に入れている人の中で、誰よりもたくさん入れた。皆は有り余る中から入れたが、この人は、乏しい中から持っている物をすべて、生活費を全部入れたからである。」

金額ではなく、私たちの献げ物を通して、私たちのささげる心と信仰が示されることを神を喜ばせるのです。神は心を見ます。パウロは、私たちにこのような心を育みたいのです。

(2) 幾らかでも手元に蓄えておきなさい

2-4 節「[2]私がそちらに行ってから募金が行われるようなことがないように、週の初めの日ごとに、各自収入に応じて、幾らかでも手元に蓄えておきなさい。[3]そちらに着いたら、あなたがたの承認を得た人たちに手紙を持たせて送り出し、その贈り物をエルサレムに届けさせましょう。[4]私も行くほうがよければ、その人たちは私と一緒に行くことになるでしょう。」

パウロはこのようにささげる習慣を育むように教えています。「週の初めの日」、つまり日曜日に礼拝に集まる時、礼拝の一部として献げ物をささげるようにと言いました。当時の人々は月単位ではなく日給制で働いていたため、私たちのように毎月ではなく、毎週それを献げていました。ただし、彼らは「幾らかでも手元に蓄えておく」ように、と言われていました。無くなってしまう前にまずささげる分を手元に蓄えておくという意味です。

私と美樹が結婚した当時、予算内で生活するのがいかに難しいかを知りました。毎月、月末になると、赤字に陥り、貯金が減っていきました。

そのため、私たちはこうしました。たくさんの封筒を買い、それぞれにラベルを貼りました。食費、光熱費、電話代、定期の献金、伝道献金、武のお小遣い、という風に項目ごとに封筒を用意しました。このように私たちは予算内でお金を使う方法を学びました。今もこうしています。

パウロも同じようにするようにと言っています。神にささげる献金―教会、神の民、神の働きのために神に献げるお金―を別に取っておき、残りを他の支出に使うように、と。

そして「各自収入に応じて蓄えておきなさい」とあります。神が与えてくださっている分に応じて献げましょう。神から少なく与えられているなら、少なく蓄えましょう。神から多く与えられているなら、多く蓄えましょう。それは神ご自身の教会、民、働きのために用いるよう神が多くを託したことを意味します。

しかし神は、全ての人にささげることを学ぶことを望んでおられます。そうすれば、全員がささげて、金額は同じではなくても、全員が等しい犠牲となるのです。そうすれば誰も誇ることができません。

IBP も同じです。必要な金額を 500 人で割り、一人当たり約 45 万円、月々4 万円となりました。しかし「ある人は多く、ある人は少なく」と付け加えています。主がそれぞれの人に与えられた祝福の度合いに基づいて献げましょう。

そして定期的な献金や宣教献金も同じです。裕福な方だけが献金し、他の方々が献金しないとしたら悲劇です。なぜなら教会として信仰とささげることについて成長しないからです。

(3) まとめ

神、神の教会、神の民、神の働きにささげることについて語る時、神の教会、神の民、神の働きのために全てをささげたイエスの似姿に成長していくことを話しています。ささげるとき、私たち自身の成長を助けるだけでなく、他の人も成長するようにと励ますのです。歴代史上 29 章に興味深い箇所があります。まずダビデ王が神殿のためにどれだけささげたか書かれています。そして歴代誌上 29 章 6−9 節にはこうあります。「[6]すると、親族の長たち、イスラエル諸部族の長たち、千人隊と百人隊の長たち、それに王の仕事に携わる高官たちが自ら進んで、[7]神殿の奉仕のために金五千キカルと一万ダリク、銀一万キカル、青銅一万八千キカル、鉄十万キカルを寄贈した。[8]宝石を持つ者は、それをゲルション人のエヒエルの手に託して主の神殿の宝物庫に寄贈した。[9]こうして民は、自分たちが自ら進んで献げた物を喜んだ。彼らは一心に、自ら進んで主に献げたからである。ダビデ王も大いに喜んだ。」

だから TBC の牧師全員が定期的な献金と宣教への献金やその他の献金も行っていることに感謝しています。

IBP を始めた 6 年前、美樹と私はこれが日本における神の教会、神の民、そして神の働きにとって重要なプロジェクトになると確信していました。だから始める時には本当に祈りました。このプロジェクトにささげられる最大の金額はいくらか、と祈りました。祈りの末に貯金の半分をプロジェクトにささげることに決めました。もっと多くささげたのですが、万が一の緊急事態に備えて、いくらかは手元に残しておく必要があると気づきました。定期的な献金に加えて、毎月できる限り多く IBP にささげることに決めました。毎月の収入からいくらか貯金する代わりに、余剰分は全て IBP にささげています。

そのようにしてもう 6 年経ちました。神の民にささげる習慣を学べて祝福されています。

私たち一人ひとりは、人生の異なる段階にいます。皆さんのささげる額は私たちのものとは異なります。皆さんにも、神が与えてくださっているものに応じて、定期的な献金、宣教献金、そして IBP への献金額をぜひ祈りつつ決めてください。

毎週または毎月、定額を取り分けておき、封筒を持ち帰っても構いません。神、その教会、その民、そしてその働きのために献げる習慣を学び、ますます私たちの主イエスの似姿に成長していくようにしましょう。その祝福を逃さないでください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://t-b-c.us/sg4325jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
11 月 8 日（土）1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: どなたでも

★クラス 401
人生の使命を発見する
11 月 9 日（日）1:00pm – 5:00pm
場所: ルーム 304（3F）
参加条件: クラス 301 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 402
キリストの伝え方
11 月 23 日（日）1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: クラス 101 まで修了した、TBCメンバーの方

全クラス申し込み：
https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org